

日本の未来を見据えて撃つ！
そんなあなたにホットな話題をお送りする
最先端オピニオン紙

日本シティジャーナル

発行: ネットハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3

TEL 0476-89-2333 FAX 0476-89-2334

〔平日〕10:00～19:00〔土曜〕12:00～17:00

<http://www.nihoncity.com>成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、船橋市
千葉市（花見川区、美浜区）、習志野市、八千代市、四街道市
酒々井町、栄町、小林、安食、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町

発行部数：500,000部

元伊勢と三輪山のレイライン Vol. X 不思議な出会いの連続により五十鈴河へと導かれた倭姫命

元伊勢の御巡幸が大和国から始まった当初、最終目的地が伊勢国であることは、豊鋤入姫命をはじめ、おそらく誰も理解していなかったことでしょう。しかしながら、長い年月をかけて見出された多くの御巡幸地は、大和国の三輪山を中心として広範囲にわたるだけでなく、そのほとんどが不思議と四国剣山とレイライン上で結び付いていることが確認できます。それ故、当初から御巡幸地は三輪山と剣山を指標として特定され、長年にわたり神宝が遷座され続けていくうちに、鎮座地の最終的な候補地として伊勢国の名前が台頭してきたと考えられます。

御巡幸の責務は途中、豊鋤入姫命から倭姫命へと引き継がれます。その時点で伊勢国が最終目的地であることを倭姫命が御存じであったかは定かではありません。しかしながら倭姫命による御巡幸の後半、それまでの陸路の旅から一転して船を用い、美濃国の伊久良河宮、尾張国の中嶋宮から伊勢湾に向かって河を下り、伊勢国北方の桑名野代宮に御遷行する時点では、最終目的地が伊勢国にあることは理解されていたことでしょう。そして倭姫命御一行が伊勢国の領域に到達した後、情報収集は一層活発になり、伊勢国を巡りながら神宝を鎮座する場所が徐々に絞り込まれていくことになります。

今からおよそ 20 世紀前、90 年近くの月日が費やされた元伊勢御巡幸こそ、伊勢神宮のルーツであり、倭姫命が伊勢国の五十鈴宮へと導かれたいきさつについては「倭姫命世記」（世記）の記述から察することができます。そこで今一度、「世記」の内容から、御一行がどのように伊勢国へと導かれたかを振り返ってみましょう。

倭姫命が伊勢国を目指した経緯

「世記」では大和国の笠縫邑から始まった御巡幸地が順番に説明されています。そして倭姫命の代における伊賀国隠市守宮の記述に至ると、その分注に伊勢国という文字が初めて登場します。そこには伊賀国が伊勢国の 4 郡から分けられて成り立ったと記載され、伊賀国が元来、伊勢国の一部であったことが説明されています。この分注は、先代旧事本紀の巻十の国造本紀、伊賀国造の項に由来するとも言われています。その伊賀国から淡海国、美濃国、尾張国と御巡幸の旅は続き、その後、伊勢国の桑名野代宮へと向かいます。それが「世記」に見られる 2 番目の伊勢という地名です。

桑名野代宮に到達してからの倭姫命世記の記述は一変し、それまでの簡単な概略と年代だけの記述とは異なり、出来事の詳細までも綴られるようになりま

す。最終目的地である伊勢国に到達したということで、史実をきめ細かに確認しながら編纂する必要があったのかもしれませんが、また、元伊勢の御巡幸が始まってから既に 80 年近い年月が過ぎ去っていたこともあり、時代が新しくなるにつれて、より多くの史料を集めることができたことから、詳細まで言及しやすかったとも考えられます。



伊賀国一守宮 蛭子神社

特筆すべきは、桑名野代宮へ到達した時点から多くの県主が自らの国を紹介するために倭姫命を訪問されたことが、繰り返し記されていることです。例えば伊勢からの最初の訪問者である建日方命は桑名野代宮で参上し、「汝が国の名は何ぞ」と尋ねられると、「神風の伊勢国」と申し上げたことが記載されています。その後、伊勢国界隈を御巡幸された際にも、各地の県主や有力者が同様に倭姫命を訪問され、自らの国を紹介したのです。

こうして伊勢国に到達した後は来訪者が後を絶たないようになり、倭姫命の周辺は、にわかに慌ただしくなります。特に伊勢国の飯野高宮にて 4 年間奉

斎した際は、多くの県主の祖や伊勢国の有力者が倭姫命の元に訪れます。そして未知の国々や地域が倭姫命に紹介された結果、櫛田社、兵名胡神社など、神を祀る新しい社が各地に建立されたのです。多くの県主の祖らが訪れた理由は単に、倭姫命に御挨拶をするだけでなく、中には御巡幸地の最終地点となる遷座地として自らの国を提案した権力者もいたと考えられます。こうして多くの識者や県主など、神宝の行く末と祀りごとに関心を持つ人々との情報交換に時間をかけながら最終目的地の探索は進められたのです。そして飯野高宮を離れる時点では、「遂に五十鈴宮に向うことを得たまえり」と記載されており、倭姫命は五十鈴河の上流が最終目的地であり、そこが五十鈴宮と呼ばれることを知ることとなりました。



伊勢国の桑名野代宮

そして次の御巡幸地である佐々牟江宮にて短期間滞在した後、伊蘇宮と瀧原宮に向けて伊勢湾から宮川を上流へと上り始めた際、どこからともなく現れた天照大神が倭姫命に、「神風の伊勢国は、即ち常世の浪の重浪帰する国なり…是の国に居らむ欲す」と告げられます。倭姫命は改めて、伊勢国が最終の鎮座地であることを確認し、御巡幸の旅は続けられたのです。そして最終的に倭姫命は、元伊勢御巡幸の最終地点、五十鈴河上流に斎宮と伊勢皇大神宮を建てることとなります。「その祠を建てたまう。因りて斎宮を五十鈴河上に興し立つ。是を磯宮と謂う。天照太神始めて天自り降ります所也。」と「世記」に書かれているとおりです。磯宮とは伊勢皇大神宮の古名です。この倭姫命世記に含まれる伊勢神宮の成り立ちに関わる分注は垂仁記 25 年 3 月 10 日条文と同一であり、天照大神の御神託に従って倭姫命が五十鈴宮を建立されたという歴史の結末を知らしめるために、垂仁記からそのまま引用されています。

しかしながら倭姫命が佐々牟江宮から伊蘇宮と瀧原宮へと向かう時点では、最終の鎮座地

が伊勢国の五十鈴河上流沿いにあることは理解されていても、まだ、その場所が明確ではなかったと推測されます。瀧原宮は宮川の上流沿いにあり、その河口は現在の五十鈴河の北に 3km ほど離れているだけでなく、五十鈴河とは上流で交差していません。また、五十鈴河の河口から 5km ほど伊勢湾沿いを南東に向かうと五十鈴河の支流が伊勢湾へと放流していることから、古代、五十鈴河の河口周辺は広大なデルタを形成していた可能性があります。よって、五十鈴河の位置を確かめることが難しく、ましてや、その上流にあると言われた聖地を特定することは、困難を極めたに違いありません。

それ故、倭姫命が宮川を船で上流方向へと上り、瀧原宮に向かった時点では、その河が五十鈴河であるかどうかさえ倭姫命は知らなかったようです。それでも倭姫命は瀧原宮の場所を重要視するあまり、例えその河の名前を特定することができなくとも、そこが最終目的地である可能性を見据えていたようです。それほどまでに瀧原宮の聖地はレイライン上、極めて重要な位置付けを占めていることは前述したとおりです。結果として倭姫命は、「この地は皇太神の欲給う地にはあらず」と悟られたことが「世記」に記されています。つまり、瀧原宮に到達した時点でも、まだ、倭姫命は五十鈴河沿いの最終目的地を探し求めていることがわかります。



皇太神宮別宮 瀧原宮

では、いつ、どの時点で倭姫命は、五十鈴河沿いの皇大神宮の聖地を見出したのでしょうか。その答えも「世記」に記されています。瀧原宮が最終聖地ではないと悟られた倭姫命は、あきらめることなく各地を転々と移動しながら、地元有力者との出会いがあるたびに、「吉き宮処あるや」と声をかけ、聖地を探し求めていくのです。そして徐々に御巡幸の移動が加速することになります。まず瀧原宮から「大河の南へ宮処を求めて幸行」され、そこに見つけた美しい野原

次頁に続く

矢田宮のレイライン (神宮新田)



を和比野と名付けられました。直後、地域の有力者である久求都彦(くくつひこ)が宮を造営する場所を紹介するために訪れ、御宮処として久求社が定められただけでなく、更に「吉き大宮処有り」と、新たな候補地が紹介され、倭姫命はすぐに行幸されたことが「世記」に書かれています。その後、大若子命も船で参上し、「宇遅の五十鈴の河上に、吉き御宮処あり」と倭姫命に新しい候補地を紹介します。倭姫命の熱心は止まることを知らず、どこへでも足を伸ばして現地を自分の目で確認することを大事にしたのです。その後も驚取小浜、御塩浜など各地を船で移動し続けながら、御宮処の推奨地を巡り渡りましたが、いずれも天照大神を祀るにふさわしい聖地ではなかったのです。

ひたすら御巡幸を続けられた倭姫命は、次に五十鈴河後の江まで移動され、そこから歴史が大きく動き始めます。御塩浜から五十鈴河後の江に船で到達するまでは、倭姫命は五十鈴河の場所を存じてなかったようです。それ故、「この河の名前は何ぞ」と聞かれ、その河が五十鈴河であることを知った時、倭姫命はたいそう喜びになられたことでしょう。その上流には御巡幸の最終目的地が存在することにもはや疑いの余地はなかったのです。直後、倭姫命を訪れた荒崎姫の紹介をきっかけに、「皇太神の御前の荒崎」と呼ばれた神前岬に神前社が建立されました。そして五十鈴河の上流に向けて河を上り、御津浦、鹿乃見、止鹿乃淵など、自らが命名した由緒ある場所を経由し、河上りの行幸を続けたのです。

そして到達した場所が、伊勢神宮から北東方向におよそ

4km 離れた神宮新田の東側を流れる矢田川沿いの口矢田の森にて奉られた矢田宮と、そこから 1km 少々離れた場所にある五十鈴河沿いの家田田上宮です。これらの宮に隣接する神宮新田とは、朝御饌・夕御饌処の御田を定め奉るために特別に選ばれた土地であり、神宮に奉る御料米を収穫する皇太神の御田ということからしても、最終目的地はもはや、目前に迫っていたことがわかります。



家田田上宮から次の御巡幸地である奈尾之根宮までは 2km 程しかなく、そこが最後の宮処となります。奈尾之根宮へ到達すると、そこでは大勢の有力者が倭姫命を待っていたのです。中でも猿田彦神の裔である宇治土公の祖、大田命との出会いは重要でした。その場でも、倭姫命は「吉き宮処あるや」と尋ねられ、そこで得た答えが最終目的地となる伊勢神宮の場所を決定づける言葉でした。「五十鈴の河上は、是れ大日本国の中に殊に勝て霊地に侍るなり... 定めて主の出現御坐さむとする時、献るべし」と思い、この処に礼ひ祭り申せり」という言葉に従って倭姫命がその場所をご覧になるために足を運ぶと、そこは確かに遠い昔、天照大神が誓願された豊葦原瑞穂国内の伊勢のかさはやの国であり、美しい宮処に最もふさわしい地だったのです。垂仁 26 年、倭姫命は満を持して、天照大神を度会の五十鈴河神に遷し奉り、遂に、元伊勢御巡幸

の長旅が幕を閉じたのです。

矢田宮と家田田上宮のレイライン

伊勢市楠部町を県道 37 号線沿いに東方へと向かい、五十鈴河を渡ると右側に神宮新田が見えてきます。そこから更に 500m 程先、五十鈴河に繋がる矢田川沿いに口矢田の森へと続く小道があります。神宮新田の東南方向にあたり、御田ノ森とも呼ばれる小高い丘は、今日では随所に雑草が生い茂り、昔の風情を感じることは難しいですが、それでも倭姫命が行幸された大切な場所であることに変わりなく、そこに矢田宮が建立されたのです。

また、矢田宮の次に訪れた巡幸地は家田田上宮と呼ばれています。その比定地は五十鈴河沿いに建立された伊勢神宮皇大神宮の摂社、大土御祖神社です。地元の言い伝えによると、遠い昔、大土御祖神社の近くには船着き場があり、そこに倭姫命が来られ、家田田上宮にて時をすごされたとのこと。



矢田宮、家田田上宮、及び神宮新田は互いに隣接し、地図上でもほぼ同じ位置にあることから、レイラインを考察する際には、これら 3 つの聖地をひとつとして考えることにします。矢田宮をはじめとするこれらの聖地は複数の重要なレイラインが交差する地点に建立されています。まず、レイラインの指標として頻繁に用いられている日本最高峰富士山と四国の室戸岬を結ぶ線に注目です。その線と、

淡路島の伊弉諾神宮と同緯度の線が交差する地点に矢田宮が存在します。それは矢田宮が富士山の地の力と結びつき、伊弉那岐神とも繋がりを持っていることを意味します。また、剣の神宝と深く関与する諏訪大社前宮本殿と、紀伊大島を結ぶ線、そして、伊雑宮と琵琶湖に浮かぶ竹生島を結ぶ線も、同様に矢田宮の地を通り抜けています。

更に注目すべきもうひとつのレイラインが矢田宮に絡んでいます。それが、伊島、神島(歌島)、江の島と呼ばれる 3 つの島を結ぶ線です。この線上には三輪山をはじめ、伊吹山、御在所岳、摩耶山、剣山などの多くの霊峰とレイライン上で重要な繋がりを持つ瀧原宮があります。その瀧原宮を介して列島各地の聖地と紐付けられることは、矢田宮の存在にとって極めて重要な事項であると考えられたことでしょう。また、徳島最東端に位置する伊島の北部沿岸は剣山と同緯度にあります。よって、伊島、歌島、江の島を結ぶレイラインと繋がることは、剣山とも結び付けられることを意味します。他の御巡幸地と同様に矢田宮の場所も、剣山を強く意識した上で見出された可能性を、レイラインの存在から知ることができます。

奈尾之根宮(宇治山田神社)のレイライン

倭姫命による御巡幸の旅は、奈尾之根宮を最後の宮処として完結します。その場所は矢田宮のある楠部から伊勢神宮内宮へ至る途中であると考えられ、全体の距離も 1.5km 程しかなく、いずれにしても伊勢神宮の近郊に存在したことになります。「神宮要綱」には「奈尾之根は一に納米(なうしね)と書し」と記載



されていることから、その比定地の候補地として、内宮田社の那自売(なじめ)神社が挙げられています。諸説はあるものの、那自売神社は宇治山田神社に合祀されたという記録もあり、伊勢神宮の歴史と文化の総合博物館である神宮徴古館でも、那自売神社が宇治山田神社と表記されていることから、奈尾之根宮の比定地は宇治山田神社である可能性が高いと言えます。



宇治山田神社の境内はそれほど大きくはないものの、宗像大社を彷彿させるような厳かな雰囲気包まれており、社殿の床下には神籬が置かれています。また、700 m 程西方に向かうと猿田彦神社もあります。レイライン上、特筆すべき点としては矢田宮と同緯度、すなわち、伊弉諾神宮を通る線上に並んでいるということです。それ故、矢田宮と同様に、多くの地の力に紐付けられた聖地と考えられます。宇治山田神社は、倭姫命が御巡幸された聖地である可能性を秘めた由緒ある神社として、今日まで大切に守られています。(文・中島尚彦)

引き続き、他の元伊勢御巡幸地のレイラインについても、<http://www.history.jp.com/>で紹介しています。是非ご覧下さい。

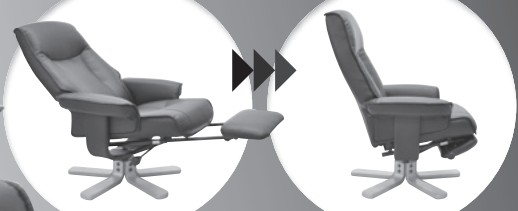
ゆったり座れてコンパクト



DESIGNED
BASIX
SIMPLICITY

リクライニングチェア

新商品登場!



オットマン一体型なので、使わない時にはしまえて広々!

RC18BK
¥19,800
(税込 ¥21,384)

- 素材：[前] ソフトレザー(ポリウレタン)、[後] PVC
- 色：[張地] ブラック、[脚部] ナチュラル
- 幅 750×奥行き 800・1455×高さ 985・855mm
- リクライニング：無段階式

脚のデザインが
とってもキュート!

高級チークガーデンベンチ

場所を選ばないシンプルデザイン エレガントなデザインで優雅なひととき



GBT010 (ガーデンベンチ)
¥23,800 (税込 ¥25,704)

- 素材：高級チーク無垢
- 幅 1,100×奥行き 430×高さ 1,000mm
- 折りたたみ式 ●インドネシア製



GBT630 (ガーデンベンチ)
¥63,800 (税込 ¥68,904)

- 素材：高級チーク無垢
- 幅 1,680×奥行き 660×高さ 1,050mm
- 完成品 ●インドネシア製

この他、多数商品を取り揃えております。
お得なセール情報も満載!
是非ファニチャーハウスの
WEBサイトをご覧ください。



携帯電話からはコチラ!

www.furniturehouse.co.jp

※ショールームは現在準備中です。
何卒、ご了承下さい。



ファニチャーハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
ご注文・お問合せは、WEBサイト・電話・ファックスから

www.furniturehouse.co.jp

TEL: 0476-24-5111
FAX: 0476-24-5112

営業時間
平日 10:00~19:00
土曜 12:00~17:00

送料・お支払い方法・発送時期などについては、お問い合わせください。
お客様の都合によるキャンセル・返品は承っておりません。

※掲載している価格は2015年7月現在のものです。最新の価格はファニチャーハウスWEBサイトにてご確認ください。

イベントシーズン到来!



LINE公式アカウント
おトクな情報発信中!



講演会やステージに最適!

PA 10/4

24,800円
(税込 26,784円)

4chミキサー

スピーカー
(2本)

マイク
(1本)

スタンド
(2本)

マイクケーブル
(1本)

出力 75W+75W。4ch
ミキサー。箱を開けてセッ
ティングすれば、すぐに
音出し可能。マイクは
合計 4 本まで接続可能
です!



40~50人規模の
室内会場に最適

PA COMBO

24,800円 (税込 26,784円)

BGMやセミナーにオススメ オールインワン PA セット

100W+25W+25W の出力。
サブウーハーと壁掛けタイプの
スピーカー 2 本の PA セット。
10mのスピーカーケーブルも
付属します。



サブウーハー: W340xD350xH230 mm、質量 8.3kg
サテライトスピーカー: W90xD136xH180mm、質量 0.9kg



背面パネル

幅広い
用途

簡単に
設置

大迫力
サブウーハー

KOK500 ホームセット



43,800円 (税込 47,304円)

大人気! 本格カラオケセット

カラオケアンプ、スピーカー 2 台、
マイク 2 本にケーブルまで付属。カセット
デッキや DVD デッキを接続すれば、
自宅がカラオケ教室に早変わりです。

全国
どこへでも

全 商 品
送 料 無 料

正社員・パートスタッフ募集

お客様からの電話、メール、FAX
による注文、問合せに対応します。
希望により、新商品開発や各種企画
などにも携われます。
社保完備、年二回賞与、天然温泉
優待、社員食堂、社宅あり。
●パート: 時給 1,050 円
●正社員: 月給 17.6~38.0 万円
詳細は右記までお問い合わせ下さい

ショールームでお待ちしています!

R408 サウンドハウス
至 寺台インター セブン
千 葉 R51 〓 イレブン
葉 R295 野毛平工業団地入り口 至 香取

《営業時間》

平日 10:00~19:00
土曜 12:00~17:00
日曜/祝日 休業

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 (野毛平工業団地内)
TEL:0476-89-1111/FAX:0476-89-2222

www.soundhouse.co.jp

株式会社サウンドハウス

カリフォルニアのおいしい水 アクアヴィル

AQUAVILLE

2ケースセット! 計48本

1ケース 500ml ボトル 24本入



2ケース
税・送料込

2,180円

※一部離島を除く

フィットネスハウス

☎0476-89-3111

携帯でのご注文はこちら



レストランフロアスタッフ募集 7/20 オープン

【業務】天然温泉施設内レストランフロアスタッフ
【資格】未経験者・主婦・学生も歓迎
【時間】10:00~22:00
週3~5日、1日3~8時間以上で応相談
【給与】時給1,000円(土・日・祝16:00以降 1,050円)
※正社員登用制度あり
【待遇】駐車場あり、従業員家族を当館へ無料優待
【応募】下記へ電話連絡の上、履歴書を持参ください。

同時募集中

《フロント受付》温泉施設の受付にてお客様のご案内
16:00~22:00 (週3日、3時間以上)
《クリーンスタッフ》施設内の清掃、アメニティの補充
7:00~22:30 (週3日、3時間以上)



大和の湯

〒286-0841
千葉県成田市大竹 1630

お問合せ 0476-89-1777

e-mail: info@yamatonoyu.com (担当: 採用係)

WEB サイト案内

日本シティジャーナルをご覧いただきありがとうございます。
本紙のバックナンバーは WEB サイトにてすべてご覧頂けます。
連載中の歴史に関するコラムは最新情報に随時更新して
スペシャルサイト「日本とユダヤのハーモニー」にまとめて
あります。ご意見・ご要望等をお待ちしております、FAX や
ホームページからお寄せ下さい。

日本シティジャーナル: <http://www.nihoncity.com/>
日本とユダヤのハーモニー: <http://www.historyjp.com/>



編集後記

ギリシャの債務問題でマーケットが一喜一憂
する日々が続いています。ニュースがデフォルトの
方向に流れると、国内市場では円高株安へと
敏感に反応し、欧州連合 (EU) が追加融資を
検討すると円安株高に動きます。EU 側の財政
再建策は厳しく、ギリシャ側の対応が不十分な
ことから先行き不透明感は否めません。しかし
ギリシャが EU を離脱することはロシアが接近
することを意味し、ヨーロッパでの軍事バラ
ンスを大きく損ねることから名案はなく、世界が
振り回される結果となっています。

NCJ編集長 中島 尚彦
1957年東京生まれ。14歳で
米国に単身留学。ウオートン
ビジネススクール卒業後、ロス
アンゼルスにて不動産デベロッ
パーとして起業。ビジネス最前線
で活躍する。1990年に帰国後、
成田にサウンドハウスを立ち上げる。
現在ハウスホールディングス代表、
日本シティジャーナル編集長を
兼務。趣味はアイスホッケーと
読書。ここ数年は「日本とユダヤの
ハーモニー」の執筆に動む。



温泉新報

入館料

平日 : 700円

土日祝: 1000円

※小学生の入館料: 300円
(大人同伴の入館の場合)

営業時間

10:00-22:00

※年中無休(全館禁煙)

未就学児の入館は
ご遠慮ください

『トリップアドバイザー』による
「行って良かった日帰り温泉&
スパ」にも選出「大和の湯」の
食事処がリニューアル・オープン

成田の命泉大和の湯に 新レストラン・オープン

寿司職人が奏でる昔ながらの手仕事を活かした「江戸前にぎり寿司」。クラシックスタイルのデミグラスソース・ハンバーグ、フォンから煮込んだビーフやポーク・シチュー、地魚のフレンチやサラダ等。安心・安全・健康に加え、地元食材を中心に、本当に良い食材を皆様に美味しく召し上がって頂くため、一生懸命に調理致し、寛ぎと癒しの時間をお手伝いさせていただきます。

料理長 力丸多三夫

あじ彩御膳

1,580円

日替わり洋食(例:チキンのロースト)・
江戸前握り寿司・精進揚げ・デザート

日替わり膳

980円

洋食と和食のコラボレーション
(例:鉄火丼と若鶏のクリーム煮)

週替わり洋膳

1,780円

メイン(例:ブイヨン炊きポークのボワレ)・
スープ・サラダ・ライス・デザート

※写真はイメージです



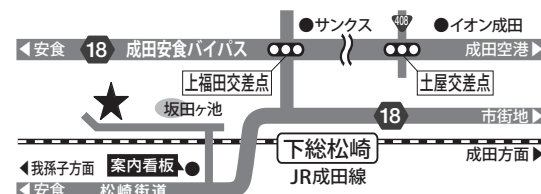
松口猛
千葉県八街市出身。
お台場の「ホテルグラン
パシフィック」にて
軽食や米沢牛などの
焼き手を担当する



土屋正文
長野県出身。自由が丘、
赤坂、吉祥寺等で寿司・
割烹を修行。群馬にて
オーナーとして「一夢人
正庵」を開業する



力丸多三夫
群馬県出身。丸の内
ホテル、虎ノ門パスト
ラル、吉祥寺エスト等
を経て「洋食つれづれ季」
にて料理長を務める



〒286-0841 千葉県成田市大竹 1630

www.yamatonoyu.com

TEL 0476-28-8111

大和の湯は開館当初より天然温泉の泉質が評判を呼び、近隣のみならず遠方からも多数の方々が訪れています。食事も最高の料理を提供すべく、日帰り温泉としてはめずらしいオープンキッチンも備えています。その高い評価は、人気旅行クチコミサイト『トリップアドバイザー』の読者による「行って良かった日帰り温泉&スパ2013」に選出されたことにも現れています。

そして7月20日、従来の和食に加えて、洋食メニューも取りそろえ、広く老若男女、海外から訪れた方にも楽しめるようレストランの内容を一新して新たにスタートします。また、以前から好評の寿司コーナーは従来通り継続され、印旛沼越しに沈む夕日を眺めながら、新鮮な寿司やお刺身をつまみにカウンターにて一杯を楽しむこともできます。

「大和の湯」効能

腰痛、神経痛、筋肉痛、関節痛、アトピー、五十肩、うちみ、運動麻痺、関節のこわばり、肌あれ、くじき、痔症、冷え症、慢性消化器病、後回復期、切り傷、疲労回復、健康増進、やけど、風邪の予防など

成田の命泉
大和の湯
y a m a t o - n o - y u